

平成 20 年度を振り返って－ “三よし” －

京都西陣の呉服問屋の老舗に伝わる家訓 “三よし” を以前にも紹介したことがあります。 “三よし” とは、お客よし (反物の品質に応じた価格), 職人よし (織物職人の腕に対する賃金), 世間よし (お客の評判) のことです。

医療経営環境が厳しくなる中、私たちは顧客 (主に患者さん、業者さん)、働く私共に加えて社会 (世間) のそれぞれの満足度をいかに調和をとり経営に反映していくかではないでしょうか。

“三よし” に通じる顧客満足 (CS: customer satisfaction), 従業員満足 (ES: employee satisfaction), 社会的満足 (SS: social satisfaction) について回覧中の病院経営 (No416, P57～) に分かり易く解説されています。

平成 20 年度ははまゆう倶楽部の開設、はまゆう会創立 20 周年記念行事と大きな事業を総力を結集して立派に遂行しました。このことは、いかにこの “三よし” が大切であるかを知り、今後のはまゆう会の進むべき道が示されたのではないかと思います。内外の景気後退と医療環境の変化ははまゆう会でも例外ではなく、主に透析患者数の減少による総収入の低下にも関わらず、リハビリ部門の健闘と両部門の共働力により、まずまずの収支を得ることができました。21 年度の人事院勧告の給与引下げについては極力避ける方向で努力いたします。ご苦労様でした。

理事長 市丸 喜一郎